

News Letter



川の自然体験学習会 in 網走湖・網走川

「あばしり学」実施レポート

◆開催概要◆

令和5年7月15日（土）に、網走湖及び網走川で、網走市近郊の小学生17名を対象に川の自然体験学習会「あばしり学」を開催しました。

学習会では、水辺で遊ぶ際の危険回避の方法を学ぶ「安全講習会」、屋外で必要となる様々なロープの使い方を学ぶ「ロープワーク講習」、網走湖の水質環境を学ぶ「水質調査」、ライフジャケットを着て湖に浮かぶ「ぶかぶか体験」、Eボートで網走川を下る「川下り体験」を行いました。



水質調査・ロープワーク・ぶかぶか体験：女満別湖畔公園キャンプ場
川下り：大曲湖畔園地～オホーツク文化交流センター前

◆実施内容◆

学習会は大空町の女満別湖畔公園キャンプ場からスタートです。この日の天気は曇りで気温が20℃前後と、7月としては肌寒い中での学習会となりました。

「安全講習会」では、川に近づく時の注意点や川の危ない場所について、“1人では川に行かない”“川に流された人がいたら助けを呼ぶ”といったことを学びました。

ライフジャケットを着た後、2グループに分かれて「ロープワーク講習」と「水質調査」を交互に行いました。「ロープワーク講習」では、基本の“8の字結び(エイトノット)”や“もやい結び(ポーライン)”などを学びました。子どもたちは特にもやい結びに悪戦苦闘していました。「水質調査」では、湖水の透明さを透視度計で測定したり、実際に湖に入って湖底の感触や湖水の臭いを確かめたりしたほか、ろ紙を用いたクロロフィルの簡易確認や、パケット

スト®を用いた簡易水質調査を行いました。

次は全員で「ぶかぶか体験」です。湖に入りスタッフと子どもたちが水をかけ合って、水に慣れてきたところで、湖面であおむけになりました。ライフジャケットの浮力を感じながら、気持ちよくぶかぶか浮くことができました。

昼食後は会場を大曲湖畔園地に移して「川下り体験」を実施しました。まずはライフジャケットを着て、ボートでの座り方やパドルの扱い方などを学習し、準備が整ったら3艇に分かれていよいよ出発です。子どもたちは普段見ることのできない湖や川からの景色を眺めつつ、みんなで力を合わせて川下りを楽しみました。ボートは無事にオホーツク文化交流センターに到着し、閉会となりました。

子どもたちにとって貴重な体験ができた学習会となりました。



川に流されたらどうする!?
対処のしかたを学びました



ロープをどこに通す?
もやい結びを習得中!



網走湖の水の透明さは?
透視度計をのぞいてみます



みんなで一斉に後ろに倒れ
ぶかぶか体験



川下り前にハイチーズ!



みんなで力を合わせて川下り

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126



国土交通省 北海道開発局
網走開発建設部

出前講座

2023

News Letter



川の自然体験学習会 in 常呂川（置戸町立置戸小学校）

川の安全講習会 & 川下り体験 実施レポート

◆開催概要◆

令和5年6月22日（木）に、置戸町を流れる常呂川の上流部で、置戸町立置戸小学校6年生17名を対象に「川の自然体験学習会」を開催しました。学習会では、川で遊ぶ際の危険回避方法を学ぶ「川の安全講習会」と、ゴムボートで常呂川をラフティングする「川下り体験」、ライフジャケットを着たまま川を流れる「川流れ体験」を行いました。



川下りのルート 拓殖橋上流から種川合流点付近まで全長約3km

◆実施内容◆

当日は午前から気温が25℃を超える夏日でしたが、川の水温は少し低い中での開催となりました。

「川の安全講習会」では、川に近づく時の注意点や川の危ない場所について学習。“1人では川に行かない”“川に流された人がいたら助けを呼ぶ”といったことを学びました。

川下りの前に、ライフジャケットやヘルメットを着用し、ボートの座り方やパドルの扱いなどを学習しました。また、川に流された人を救出する「スローバッグ」の実演を見学しました。

準備が整ったらいよいよ「川下り体験」。児童たちは4艇に分かれて出発しました。それぞれのボートには前後に操船スタッフが配置され、安全に進むことができます。児童たちは普段見ることのできない川からの景色を眺めつつ、川底の石をよけながら川下りを楽しみました。

ゴールに到着した後は「川流れ体験」を行いました。はじめは恐る恐る仰向けになる児童たちでしたが、川に身をゆだねると気持ちよさそうにプカプカと流れていました。

児童たちにとって貴重な体験ができた学習会となりました。



川に流されたらどうする!? 対処のしかたを学びました



ちょうどいいサイズかな? 川に入る装備をしっかりと



スローバッグを投げて救助



ゴムボートで川下り



水しぶきをあげながら前進



プカプカ川流れ体験!

～知って得する川の安全情報 ライフジャケット～

川の水の中では、人間の体は数%程度しか水面から出ません。助けを呼ぶために手を上げると、その数%を手が費やしてしまうため、頭が水面下に沈み、呼吸ができなくなってしまいます。ライフジャケットを正しく着用すれば、頭が水面から出るため呼吸ができ、さらに手が自由になるため助けを呼ぶことができるようになります。

川に近づく際には、大人・子どもを問わず必ずライフジャケットを着用しましょう。



出典 / 河川財団「水辺の安全ハンドブック」
Illustration / 山下 航

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126